

第15回「井戸ばた会議」
町民と議員の対話

2月21日に井戸ばた会議を開催しました。

アイスキャンドルミュージアムの終了を待ち、3月定例会の前に、町民のみなさまの声を聞くということから、急なお知らせかと思いましたが多くの方に参加していただきました。

2つのテーブルに別れ、中には両方に参加された方もいて、活発な意見交換ができました。町民の方からは「意外に難しくなかった」、「議員が身近に感じられるようになった」などのお声をいただきました。

これからも町民のみなさまの声を聴く機会を設けていきたいと思えます。



テーマ	会議内容（一部掲載）
みんなで考える新年度予算	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントの予算が減額傾向。参加者は停滞気味。町はどう考えているのか。 ・ 予算減の基準が不明瞭、説明を。町民が共有できる共通項を示してほしい。 ・ 都市マスタープランは夢があるが、予算的に現実性があるか。 ・ 町民が先々を読んで提案したほうがよいのでは。 ・ 財源がないのはわかるが収入確保の方策を考えるべき。そのための投資なら町民も理解を示すのでは。町民も町財政に興味を持つべき。 ・ 多岐にわたる町のサービスは町外対応も含め無料が多い。負担金はもう少し多くしてもよいのでは。 ・ ふるさと納税は収入増に直結すると思うが返礼メニューも精査するべき。 ・ 自分から情報を取りに行く姿勢も必要。
施設管理・担い手不足	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護職員の資格取得に個人のお金と時間がかかっている。それを回収できるように待遇のよいところに行くのは当然。 ・ 65歳ぐらいでまだ元気な高齢者を介護補助者として採用できないか。 ・ あけぼの園等で「福祉貯金」のような制度をつくり、ボランティアをするとポイントが貯まり自分が利用するときポイントの分だけ減額されるような仕組みを検討できないか。 ・ ボランティア人材センターのようなものをつくり、派遣ということも考えられる。 ・ 福祉関係は5年後10年後今の体制で大丈夫か。若い担い手がいないので外国人に働いてもらってはどうか。少子高齢化で止むを得ないのではないか。 ・ フレベは月曜日に休館となることや夕方になるとトイレが使えなくて困る。 ・ 錦町のトイレは維持費や利用状況を調べて今後の方向性を考えてほしい。 ・ 小中一貫教育では子どもが少なくなっているので建物を一つにすることも考えてほしい。 ・ 中学校の水道はお湯が出ないのでアトピーの生徒には寒い日の掃除が大変とのこと。



笑いや雑談も交わりながら、テーマに沿った意見交換をしている様子

議会へ意見書を
いただきました

以前に議会宛に匿名で質問、意見をいただきました。内容について確認をしたくても匿名なのでご連絡の取りようがありません。

議会宛のご意見、ご質問は大歓迎ですが、その場合にお名前、連絡先を書かれたうえで、「匿名希望」とお書き下さい。